

4. 安心安全な地域づくりの推進



基本方針

近年、児童を狙った悪質犯罪が全国的に後を絶たないことから、「自分たちの安全は自分たちで守る」という防犯意識のもと本市で結成されている青色防犯パトロール隊の更なる発足の推進、子どもの事件・事故防止教室の開催などにより、防犯体制を充実し犯罪を抑止する環境づくりを目指します。

交通安全については、交通指導員の学童誘導・交通安全教室などによる交通事故防止と交通安全意識の高揚を

図ります。さらに、警察等との連携強化による放置自動車排除、自転車の駐輪対策を進め、道路危険箇所への交通安全施設の整備を促進し、市民が安全・安心を体感できる地域環境づくりに努めます。

民間乗合バス路線の廃止による交通空白地帯の増加や、高齢者・障がい者等の弱者へ対応し、また、観光スポットや公共施設への利便性向上のため、すべての人が利用しやすい快適な交通環境を作ります。また、公共交通を利用しやすくするため、全駅への自転車駐車場の設置を進めます。

現状と課題

防犯対策については、民間ボランティア等による青色防犯パトロール隊を発足させるとともに、青色防犯灯の設置や不審者情報（子ども安全メール）の配信を実施しています。

交通安全対策として、交通安全意識高揚のため交通安全運動や各種のキャンペーン事業、交通指導員による交通安全教室等を実施しています。また、交通事故の要因となる違法駐車車両や放置自動車を排除するため、警察と連携して指導・警告を実施していますが、放置自動車は所有者が不明のケースや手続面等から撤去に日数を要することが問題となっています。駅周辺の放置自転車については、条例を適用して警告・撤去するとともに、自転車駐車場の設置を進めています。しかし、近鉄岡寺駅周辺は自転車駐車場が未整備であり、新設の必要性があります。また、市内の見回りや地元要望等から交通危険箇所を把握し、警察等と連携してガードレールをはじめ、信号機・道路標識・道路標示・カーブミラー等の整備を推進しています。

コミュニティバスについては、市民の交通利便性、観光客等外来者の回遊性の向上を目指して運行していますが、市民のニーズと照らし合わせて、真に市民の足とすることが課題となっています。

施策指標

指標名	実績値			目標値
	H16	H17	H18	H24
刑法犯認知件数	2,840件	2,717件	2,416件	1,850件
青色防犯パトロール隊団体数	0団体	6団体	7団体	16団体
交通事故死者数	8人	6人	4人	0人
公共交通機関が利用しやすいと感じている市民の割合	-	-	45.5%	50.0%
安心して歩道を通行することができると感じている市民の割合	-	-	17.2%	50.0%
コミュニティバスの利用者数	-	-	-	29,000人

今後の取組

1 防犯体制の整備・推進

民間ボランティアによる青色防犯パトロール隊の発足を推進するとともに、犯罪抑止効果が見込まれる青色防犯灯の設置及び子どもを犯罪から守るための不審者情報（子ども安全メール）の配信を実施していきます。

- 青色防犯パトロール隊事業
- 青色防犯灯設置事業

2 交通安全意識の高揚

交通安全運動や各種キャンペーンをはじめ、交通指導員による学童誘導、交通安全教室、違法駐車車両への指導等の活動により、交通安全意識の高揚を図ります。

- 交通安全対策事業
- 交通安全意識啓発事業

3 快適で安全な駅前空間の確保

公共交通の利便性向上のため、近鉄の各駅周辺に自転車駐車場の整備を進めてきましたが、唯一未整備である近鉄岡寺駅周辺での自転車駐車場の新設を推進します。

また、八木駅南周辺地区ではみち再生事業を推進中であり、今後も各自転車駐車場を基点として、放置自転車の排除を一層進め、駅周辺の安全確保と環境美化に努めます。

- 自転車駐車場管理事業

4 交通安全施設の整備の推進

交通危険箇所の把握に努め、警察をはじめとする関係機関等との連携を図り、信号機・カーブミラー・ガードレール・道路標識・道路標示等、交通事故防止のための交通安全施設の整備推進を図ります。

- 交通安全対策事業
- 交通安全施設整備事業

5 違法駐車対策の推進

警察との連携を強化し、違法駐車等防止重点地域を中心に違法駐車車両等に対する指導・警告及び撤去の処置を推進し、交通安全確保と環境美化に努めます。

- 交通安全対策事業

6 高齢者の交通事故防止対策の推進

警察・交通安全協会等関係機関と連携して、高齢者を対象とした参加・体験・実践型の交通安全教育等を推進します。

- 交通安全対策事業

7 コミュニティバスの利用促進

運行を開始したコミュニティバスの広報活動を活発に実施し、利用者等の要望・意見を積極的に受けとめて改善を行い、利用者の増加を図ります。

- コミュニティバス運行事業

市民等との役割分担

市民や民間ボランティアによる青色防犯パトロール隊の新規発足の推進等、「自分たちの安全は自分たちで守る」という防犯意識を高めていくことが期待されます。

また、交通事故を防ぐためには、各家庭・地域における交通安全意識を高めることが大事であり、交通ルールの遵守と交通マナーの向上のため、交通安全大会や交通安全教室等へ積極的に参加することが期待されます。

交通事故の発生抑止のため、警察による徹底した指導・取締りが期待されます。積極的に公共交通機関を利用することが期待されます。